

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校デジタルアーツ東京
設置者名	学校法人 菅原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
情報専門課程	ゲーム学科/ゲームCGキャラクターコース(2年制)	夜・通信	240時間	80×2=160時間	
	ゲーム学科/ゲームプログラムコース(2年制)	夜・通信	300時間	80×2=160時間	
	IT学科(2年制)	夜・通信	240時間	80×2=160時間	
ビジネス専門課程	国際情報ビジネス学科(2年制)	夜・通信	240時間	80×2=160時間	
文化教養専門課程	アニメ学科/アニメーターコース(2年制)	夜・通信	240時間	80×2=160時間	
	アニメ学科/アニメ彩色・撮影コース(2年制)	夜・通信	240時間	80×2=160時間	
	ノベルス・シナリオ学科(2年制)	夜・通信	240時間	80×2=160時間	
	イラスト学科(2年制)	夜・通信	240時間	80×2=160時間	
	マンガ・イラスト学科(2年制)	夜・通信	240時間	80×2=160時間	
	フィギュア原型学科(2年制)	夜・通信	240時間	80×2=160時間	
	声優学科(2年制)	夜・通信	240時間	80×2=160時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校HPに公開している。

<https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校デジタルアーツ東京
設置者名	学校法人 菅原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校HPに公開している。
<https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2022. 6. 1～ 2026. 5. 31	学園の経営計画全般についての的確なアドバイス
非常勤	会社役員	2022. 6. 1～ 2026. 5. 31	学園予算について財務運営上の的確なアドバイス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校デジタルアーツ東京
設置者名	学校法人 菅原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>(ゲーム学科、IT学科、国際情報ビジネス学科、アニメ学科、ノベルス・シナリオ学科、イラスト学科、マンガ・イラスト学科、フィギュア原型学科、声優学科)</p> <p>【作成について】</p> <p>各授業科目については、毎年度、教育課程編成委員会の意見を各学科長及び学科担当教員により、授業科目の設定・授業方法等についての検討・検証を行っている。その内容に基づき、各授業を担当する教員により、作成を行っている。</p> <p>各授業を担当する教員へは「シラバス作成の方法と手引き」を示し、学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p>【時期について】</p> <p>翌年度の授業計画は12月～1月に担当教員が作成し、3月の理事会時の議案で翌年度の事業計画が承認されることで正式決定する。その後、翌年度分のシラバスを学校HPに公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学校HPに公開している。</p> <p>https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則の細目に於いて、成績の評価及び卒業・修了の認定について規定している。 (参考)</p> <p>◆学則の細目第10条(成績の評価)</p> <p>教科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合勘案して行い、合格者に対して該当科目の修了を認定する。</p> <p>2 その教科目について、出席率75%以上に満たない者は、該当科目の履修の認定はしない。</p> <p>◆学則の細目第19条(卒業・修了の認定)</p> <p>第10条に定める教科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の認定を行う。</p> <p>2 所定の在学年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学科ごとに履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)仕組みを導入している。</p> <p>学業成績は、授業科目ごとに行う試験(定期試験、レポートなどの提出物)及び出席率によって評価される。当校では各授業の評価を100点満点を基準として、50点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により、80点以上をA、65点以上をB、50点以上をC、49点以下をDとして、成績が通知される。</p> <p>客観的な指標の算出方法としては、学生個人の全ての成績(100点満点で点数化)を合計し、履修科目数で除した点数により平均点を算出する。学科ごとに全学生の平均点を算出し、順位付けを行い、指標分布を作成する。</p> <p>成績評価方法については、学校HPで公開するほか、記載している学生生活マニュアルをオリエンテーションで学生等へ配布している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学校HPに公開している。 https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校は、学校教育法に基づき、電子計算機・情報処理の専門技術、ビジネス・商業実践の教育を施し、並びに音楽やデザインの実務知識を修得させ、経済社会全般にわたる専門的な実務上の処理に充分に対応できる人材の養成をもって社会に寄与することを目的とする。</p> <p>卒業要件については、各学科が定める全授業科目を所定の年次に全て合格することを定めている。詳細についてはディプロマ・ポリシーをはじめ、学則細目、学生生活マニュアル等に記載している。</p> <p>本校では、ディプロマ・ポリシーを策定し、学校HPに公表している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学校HPに公開している。 https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校デジタルアーツ東京学校
設置者名	学校法人 菅原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校HPに公開している。 https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業関係		情報専門課程	ゲーム学科 ゲームCGキャラクターコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	240 単位時間 /単位	単位時 間/単位	1,560 単位時間/ 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人の内数		22人	2人	3人の内数	7人の内数	10人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 通常の授業の他、企業連携による課題制作やコンテスト応募など学生のスキルアップにつながる取り組みも行う。年2回の個人面談や状況に応じた個別面談を通じ進路指導を行い、個々の目標を定め適切な進路決定に結びつくよう指導している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31人 (100%)	0人 (0.0%)	19人 (61.3%)	12人 (38.7%)
（主な就職、業界等） ゲーム・CG・映像業界（株式会社デジタルワークスエンタテインメント、株式会社 オブティウエーブ、株式会社サクシード、株式会社Next Langit）等			
（就職指導内容） 履歴書・エントリーシート添削、面接指導、企業説明会開催、インターンシップ紹介			
（主な学修成果（資格・検定等）） CGクリエイター検定、ビジネス能力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57 人	6 人	10.5%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業関係		情報専門課程	ゲーム学科 ゲームプログラムコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	420 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,380 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人の内数		19人	4人	3人の内数	7人の内数	10人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 通常の授業の他、企業連携による課題制作やコンテスト応募など学生のスキルアップにつながる取り組みも行う。年2回の個人面談や状況に応じた個別面談を通じ進路指導を行い、個々の目標を定め適切な進路決定に結びつくよう指導している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31人 (100%)	0人 (0.0%)	19人 (61.3%)	12人 (38.7%)
（主な就職、業界等） ゲーム・IT業界（エムビーイーインターナショナル株式会社、株式会社エスユーエス、株式会社エンピ、オリーブクリエイション技研株式会社、株式会社ハイデックス）製造業（株式会社アデコ、東洋ワーク株式会社）等			
（就職指導内容） 履歴書・エントリーシート添削、面接指導、企業説明会開催、インターンシップ紹介			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者試験、ビジネス能力検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57人	6人	10.5%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業関係		情報専門課程	I T 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	1,020 単位時間/単位	単位時間/単位	780 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	28人	28人	3人	2人	5人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導を実施している。学校フリーパスを用いたオンラインプログラミング学習サービス、東京外国人雇用サービスセンターから講師を招いて利用指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	0人 (0.0%)	4人 (80.0%)	1人 (20.0%)
(主な就職、業界等) システムベンダー、その他情報通信業 等			
(就職指導内容) 自己分析演習、履歴書作成指導、学校内会社説明会、SPI 演習、個人面談 等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 日本語能力試験(JLPT) N2 合格…2名、N3 合格…1名 基本情報技術者試験…不合格後も受験を繰り返している。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16 人	2 人	12.5%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務関係		ビジネス 専門課程	国際情報ビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	1,500 単位時間 /単位	単位時間 /単位	300 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		111人	111人	4人	9人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 日本企業への就職を目指した人材育成を目指したカリキュラムを展開している。特に「業界研究」「キャリアデザイン」「実践学習」などの授業では各業界の企業の方を招いて講義や企業説明会を校内で実施している。また、年間を通して個人面談などによる担任の進路指導を随時行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
35人 (100%)	4人 (11.4%)	16人 (45.7%)	15人 (42.9%)
（主な就職、業界等） 宿泊・飲食店などのサービス業、小売業 等			
（就職指導内容） 情報収集（業界研究）や履歴書、ES、面接指導。また求人の開拓も教員が行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日本語能力試験(JLPTN2, N1)・・・2024年度2年生 N2所持7名 N1所持2名（学生24名） （2024年度 学生111名中受験者38名）			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66 人	5 人	7.6%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養関係		文化教養 専門課程	アニメ学科 アニメーターコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	240 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,560 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人の内数	42人	1人	3人の内数	12人の内数	15人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） アニメ企業を訪問しスタジオを見学し実際の業務の様子をみせた。アニメ企業にご来校頂き説明会やポートフォリオ評価会などを実施した。就職に向けての企業の選択についての相談会も実施した。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
43人 (100%)	0人 (0.0%)	39人 (90.7%)	4人 (9.3%)
（主な就職、業界等） 全員アニメ業界へ就職した。 東映アニメーション（株）、（株）MAPPA、（株）バンダイナムコフィルムワークス、 （株）Seven Arcs、サンライズ作画塾、（株）JCスタッフ（株）亜細亜堂、 （株）チップチューン、（株）ゆめ太カンパニー、日本アニメーション（株）、 （株）スタジオリングス、（株）スタジオ五組、（株）葦プロダクション			
（就職指導内容） 履歴書・エントリーシート・作文の書き方。面接トレーニング。ビジネスマナー講座。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス能力検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
80人	7人	8.8%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養関係		文化教養 専門課程	アニメ学科 アニメ彩色・撮影コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	240 単位時間/単位	単位時間/単位	1,560 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人の内数		30人	0人	3人の内数	12人の内数	15人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） アニメ企業を訪問しスタジオを見学し実際の業務の様子をみせた。アニメ企業にご来校頂き説明会やポートフォリオ評価会などを実施した。就職に向けての企業の選択についての相談会も実施した。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
43人 (100%)	0人 (0.0%)	39人 (90.7%)	4人 (9.3%)
（主な就職、業界等） 全員アニメ業界へ就職した。 東映アニメーション（株）、（株）Clover Works、（株）JCスタッフ、（株）OLM、 （株）チップチューン、（株）Cygames Pictures、（株）マッドボックス、（株）エイトビット、（株）ライデンフィルム、（株）旭プロダクション、（株）ゆめ太カンパニー、 （株）サンシャインコーポレーション、（株）バイブリーアニメーション 等			
（就職指導内容） 履歴書・エントリーシート・作文の書き方。面接トレーニング。ビジネスマナー講座。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス能力検定 色彩検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
80人	7人	8.8%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養関係		文化教養 専門課程	ノベルス・シナリオ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	240 単位時間 /単位	単位時 間/単位	1,560 単位時間/ 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
50人	32人	0人	3人	7人	10人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各教員が学生作品の作業進捗状況を把握し、添削等を重ねスキルアップ出来るよう支援している。また学内外においてイベントへ参加するとともに2年間の集大成として卒業作品を制作するなど学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13人 (100%)	0人 (0.0%)	10人 (76.9%)	3人 (23.1%)
（主な就職、業界等） マンガ制作会社、ゲーム会社、アニメ制作会社、映像編集会社 等			
（就職指導内容） 個別面談、履歴書添削、面接指導、業界関係者によるセミナーや講評会を開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス能力検定ジョブパス			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35 人	1 人	2.9%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養関係		文化教養 専門課程	イラスト学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	360 単位時間/単位	単位時間/単位	1,440 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140人		158人	3人	4人	10人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 随時担任による個別面談・進路指導を行っている。また、検定取得において事前対策特別授業を設け、意欲のある学生に積極的に支援を行い、業界に向けての意識を付けさせている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
81人 (100%)	0人 (0.0%)	53人 (65.4%)	28人 (34.6%)
（主な就職、業界等） デザイン業界・ゲーム業界・Webデザイン業界・Webtoon業界 等			
（就職指導内容） ビジネス能力試験を踏まえたビジネスマナー指導、履歴書指導、面接指導、個人面談			
（主な学修成果（資格・検定等）） カラーデザイン検定・Photoshop クリエイター能力認定試験・Illustrator 能力認定試験・CLIP STUDIO PAINT クリエイター検定・ビジネス能力認定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
176 人	11 人	6.3%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養関係		文化教養 専門課程	マンガ・イラスト学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	360 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,440 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		31人	3人	3人	4人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各専門分野を基本としたマンガ・イラストなどの実務経験を持つ教員が、豊富な知識や技術などに基 づき教授する。画材・機材の使い方や表現のトレーニングを行った後、基礎的な作品から複雑な構成 へとステップアップする。作品を履修者同士で鑑賞し、意見を述べ合う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (0.0%)	10人 (83.3%)	2人 (16.7%)
（主な就職、業界等）			
<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル職人（株） ・（株）ナンバーナイン ・（株）Language ・（株）ループエンド ・KADOKAWA/月刊コミック電撃大王、少年エース ・講談社/週刊少年マガジン、月刊少年マガジン、別冊少年マガジン、月刊少年シリウス、 月刊ヤングマガジン、アフタヌーン、別冊フレンド、コミック DAYS ・スクウェア・エニックス/ヤングガンガン、Gファンタジー ・集英社/となりのヤングジャンプ ・新潮社/くらげバンチ ・小学館/週刊少年サンデー、月刊少年サンデー ・dブック/フレックスコミックス/コミックメテオ ・めっちゃコミック ・LINEマンガ 			

<p>(就職指導内容)</p> <p>編集部批評会 出張編集部 編集部持ち込み会 マンガ学内コンテスト エントリーシート・履歴書添削 面接トレーニング マナー講座 個人面談等</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>漫画賞：奨励賞受賞 マンガアプリデビュー マンガアシスタント WEBTOON 業務</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31人	2人	6.6%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>経済的理由による修学継続困難、進路変更 等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。</p>		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養関係		文化教養 専門課程	フィギュア原型学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	240 単位時間/単位	単位時間/単位	1,560 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	24人	1人	3人	2人	5人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 前期末・後期末毎に実習で設けた制作課題物のチェックを行っている。また随時、担任による個人面談、進路指導、学外教育活動の紹介等を行い、意欲ある学生の学修を技術面も含め支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	0人 (0.0%)	8人 (72.7%)	3人 (27.3%)
（主な就職、業界等） フィギュアメーカー（コネクトレクト・アートスピリッツ・ホットキール・ピンポイント）等			
（就職指導内容） ビジネスマナー、履歴書添削、ポートフォリオ添削、面接トレーニング、OB訪問、企業見学、就活準備講座（身だしなみ等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス能力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	2 人	9.1%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養関係		文化教養 専門課程	声優学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	360 単位時間 /単位	単位時 間/単位	1,440 単位時間/ 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		30人	0人	3人	12人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 通常授業だけでなくプロダクションの方に来校して頂いての説明会や見学会等も行い進路先を想像しやすくしている。また担任による面接等も積極的に行い学生に対し積極的な学修を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (0.0%)	5人 (41.7%)	7人 (58.3%)
（主な就職、業界等） 声優業界（プロダクション所属）・演劇業界（劇団所属） 映像業界（プロダクション所属）・Vチューバー（事務所所属・フリー）等			
（就職指導内容） 学内オーディション・個別所属オーディション・一般オーディション			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス能力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31 人	3 人	9.7%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ゲーム学科 (2年制)	120,000 円	660,000 円	520,000 円	
I T 学科 (2年制)	120,000 円	640,000 円	170,000 円	
国際情報ビジネス学科 (2年制)	120,000 円	640,000 円	120,000 円	
アニメ学科 (2年制)	120,000 円	660,000 円	520,000 円	
ノベルス・シナリオ学科 (2年制)	120,000 円	660,000 円	520,000 円	
イラスト学科 (2年制)	120,000 円	660,000 円	520,000 円	
マンガ・イラスト学科 (2年制)	120,000 円	660,000 円	520,000 円	
フィギュア原型学科 (2年制)	120,000 円	660,000 円	520,000 円	
声優学科 (2年制)	120,000 円	660,000 円	520,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
【学校独自の修学支援制度】 ・奨学金制度 (支給) ・授業料減免制度 (特待生、クリエイティブ優遇、各種優遇等)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校HPに公開している。 https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として、関連企業、卒業生等を含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの専門的・客観的な観点から学校運営、教育活動等について評価を行っている。 評価内容は、学校運営会議等で報告され、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
フィギュア制作会社 社員 (課長職)	2023. 4. 1～2024. 3. 31	企業等委員
アニメ制作会社 役員	2023. 4. 1～2024. 3. 31	企業等委員
声優プロダクション 役員	2023. 4. 1～2024. 3. 31	企業等委員
シナリオ制作会社 役員	2023. 4. 1～2024. 3. 31	企業等委員
デザイン制作会社 役員	2023. 4. 1～2024. 3. 31	企業等委員
コミック制作会社 役員	2023. 4. 1～2024. 3. 31	企業等委員
ゲーム制作会社 社員 (部長職)	2023. 4. 1～2024. 3. 31	企業等委員
C G アーティスト	2023. 4. 1～2024. 3. 31	卒業生
地元企業 役員	2023. 4. 1～2024. 3. 31	地域住民

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校HPに公開している。 https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113311600360
学校名 (〇〇大学 等)	専門学校デジタルアーツ東京
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 菅原学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		73人	68人	73人
内訳	第Ⅰ区分	42人	41人	
	第Ⅱ区分	22人	19人	
	第Ⅲ区分	-	-	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				73人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人
(備考)					

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。